

第36回

NHK杯全国高校放送コンテスト 神奈川大会 予選会

日時 平成元年6月11日(日) AM9:00～

場所 川崎市立商業高等学校

主催 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

後援 神奈川県教育委員会

N H K 横 浜 放 送 局

有 隣 堂

朝 日 新 聞

神 奈 川 新 聞

主管 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会

本選 日時 平成元年6月18日(日) AM 9:00～

場所 川崎市中原市民館

会場案内図 川崎市立商業高等学校

3階に会場がある部門

アナウンス会場
 アナウンスA (視聴覚ホール)
 // B (被服室)

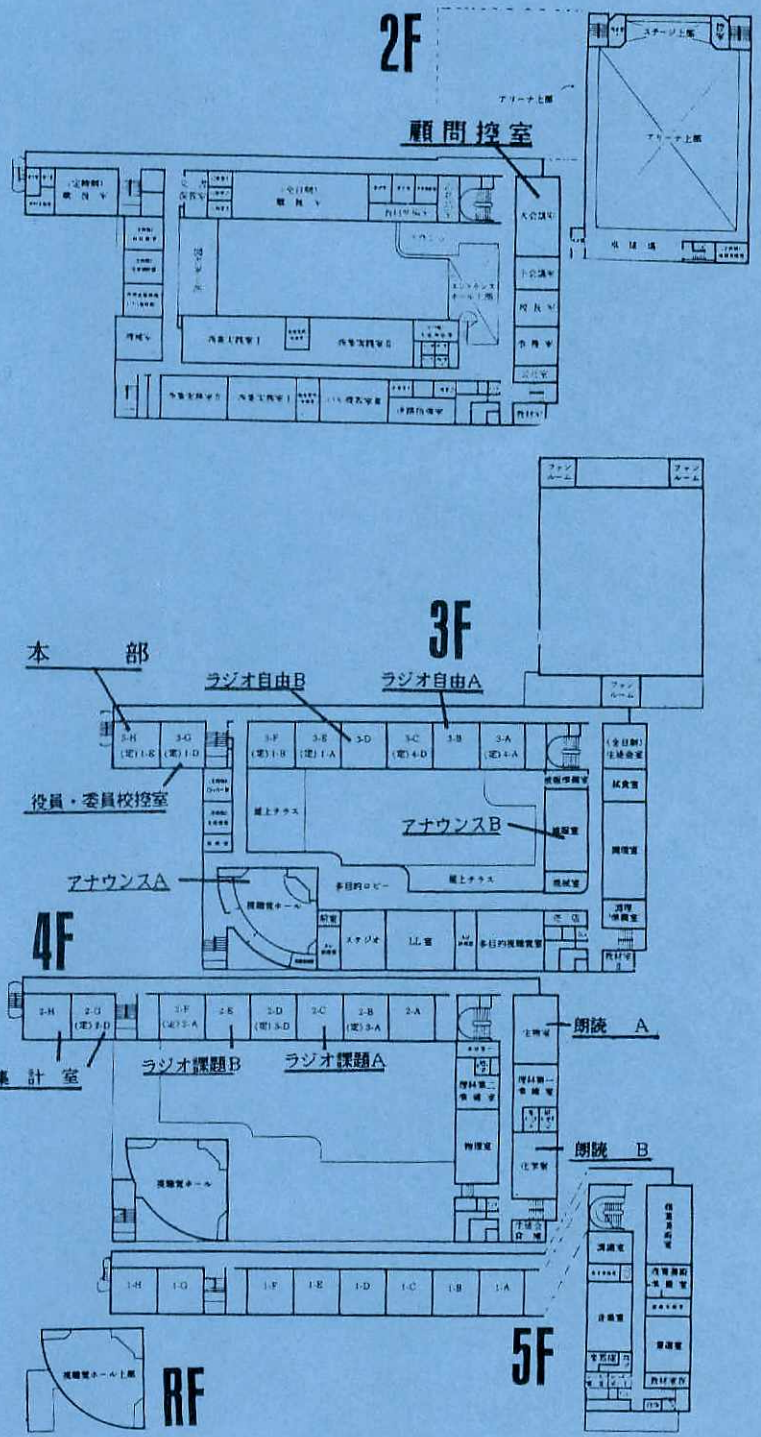
ラジオ自由会場
 ラジオ自由A (3-B教室)
 // B (3-D教室)

4階に会場がある部門

朗読 会場
 朗読 A (生物室)
 // B (化学室)

ラジオ課題会場
 ラジオ課題A (2-C教室)
 // B (2-E教室)

本 部 (3-H教室) 3階
 役員・委員校控室 (3-G教室) 3階
 集 計 室 (2-G、H) 4階
 顧 問 控 室 (大会議室) 2階



第36回NHK杯全国高校放送コンテスト 神奈川県大会実施要項

本年度の放送コンテストの要項が決定いたしましたので、お知らせいたします。関係の生徒にご伝達頂くとともに、出場を希望する生徒について格別のご配慮をお願い致します。

1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、あわせて校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2. ねらい

- ア. 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力を高める。
- イ. 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- ウ. 学園生活の中に、潤いを育て心の触れあいの場をつくる。
- エ. 発展する社会に対し放送の果たす役割を学ぶ。
- オ. 国際理解を深め、人間尊重の心を培う放送の働きを確かめる。

3. 主催・後援及び主管

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

共催：川崎市教育委員会

後援：神奈川県教育委員会・NHK横浜放送局・有隣堂・朝日新聞
神奈川新聞

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会

4. 日程・会場

《予選》平成元年6月11日（日）、市立川崎商業高等学校

アナウンス・朗読（公開）

ラジオ番組制作部門（公開）

受付： 9：00～9：30

開会式： 9：30～10：00

審査打ち合せ：10：00～（審査員控え室）

*審査の結果は、後日それぞれの学校へ葉書で連絡する。電話による問い合わせには応じない。

《本選》平成元年6月18日（日）川崎市中原市民館

全部門公開時刻は予選に同じ

閉会式：15：30～

※テレビ番組部門及び研究発表部門の審査は本選のみ（18日）に行います。

5. 出場資格

平成元年6月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会に加盟している学校に在学している生徒及び生徒の作品であること。

6. 部門・課題

①研究発表部門

発表に必要な機材（OHP、スライド、カセットテープレコーダー）は大会本部で準備する。
なお、自校の機器を持参して使用してもよい。

②アナウンス部門

自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。番号・学校名・氏名を含め1分10秒以上1分30秒以内にまとめてアナウンスする。

③朗読部門

次の指定作品のうちで一編を選び自己の表現したい部分を任意選択のうえ、1分30秒以上2分以内で朗読する。作品のアレンジは認めない。時間には番号・学校名・氏名・作者名・作品名・題名等を含む。

指定作品	1. 「千曲川のスケッチ」	島崎藤村 著	新潮文庫
	2. 「雁の寺」	水上 勉 著	新潮文庫
	3. 「おとなになる旅」	沢地久枝 著	新潮文庫
	4. 「ガリヴァ旅行記」	スウィフト 著	新潮文庫
	5. 「たけくらべ」	樋口一葉 著	新潮文庫

④番組製作部門：次の4部門について実施。内容はいずれも校内放送にふさわしいものとし、台本は高校生自らの創作に限る。既製の作品の翻案やダイジェストは認めない。

1. ラジオ番組製作部門・課題 「我ら高校生」
2. ラジオ番組製作部門・自由
3. テレビ番組製作部門・課題 「我ら高校生」
4. テレビ番組製作部門・自由

※番組制作上の注意は、第36回NHK杯全国高等学校放送コンテスト要項を参照すること。

なお、ラジオ番組は

①6分30秒～7分でまとめる。

再生するカセットデッキの回転誤差により、正確に測定できない場合があるため、できるだけ6分45秒前後にまとめること。

②往復録音時間30分～60分のカセットテープのA面のみに録音する。

B面は消去しておくこと。なお、テープの種類はBIAS: NORMAL、EQ: 120 μ Sで録音再生できるものならどのようなものでも使用可。

③審査はノーマルポジション、ノンノイズリダクションで再生をする。

実際に審査に使用するカセットデッキはステレオタイプの可能性があるためステレオデッキで録音する場合は左右のチャンネルとも同じ音を録音しておくこと。

④リーダーテープの直後から始め、最後に「製作は〇〇高等学校放送部（委員会）でした」というクレジットコールを入れる。計時はリーダーテープの直後からクレジットコールの終わりまでとする。

審査ではテープを手回しし、リーダーテープの直後を見いだしてから、カセットデッキにいれ再生を始め、クレジットコールの最後で終わりとする。従って録音はリーダーテープの直後から行うこと。また、クレジットコールの後にどんな音が入っていても審査の対象とはしない。

なお、テレビ番組は

①7分30秒～8分でまとめる。

再生するVTRデッキにより誤差が生じることがあるので、できるだけ7分45秒前後に、まとめること。

②音声はノーマルで使用する。(H i F i等は使用しない。)

③原則として制作時に使用したVTR及び接続ケーブルを18日本選会場に持参すること。当日準備するモニターテレビのコネクタは、BNCプラグ/ピンジャック(映像)ピンジャック(音声)とする。

④8mmビデオについては今回より使用が認められるが、機材、接続ケーブルは、必ず各校で用意すること。

7. 出場人数・出場本数・放送台本

	参加本数	台本数	規定	出場費
研究発表部門	1本	2部	7分～8分	2200円
アナウンス部門	2名	10部	1分10秒～1分30秒	1800円
朗読部門	2名	10部	1分30秒～2分	1800円
ラジオ番組部門	課題・自由各1本	8部	6分30秒～7分	2200円
テレビ番組部門	課題・自由各1本	8部	7分30秒～8分	2200円

※台本の作成については、第36回NHK杯全国高校放送コンテスト要項を参考にすること。

放送台本・テープは「角3」の封筒に入れ、封筒の表には台本表紙と同じように記載し、予選の際受付に提出する。

8. 表彰

アナウンス・朗読部門はそれぞれ上位6位に賞状およびトロフィー、7～12位は賞状ラジオ番組制作部門(課題・自由)はそれぞれ上位4位に賞状および楯4～8位に賞状テレビ番組制作部門、研究発表部門はそれぞれ上位を表彰する。

それぞれの部門の優勝：神奈川県教育委員会教育長賞

総合優勝：NHK杯 総合準優勝：有隣堂賞

9. 全国大会への推薦

入賞者および入賞作品を上位より順に全国大会要項により推薦する。

10. 審査基準

高校生として望ましいアナウンスメント・朗読および番組製作であってほしい。
特に次の点に留意して採点する。

アナウンス部門

取材・まとめ方・内容の把握・話しかけ方・音声・音量・アクセント

番組製作部門

テーマ・構成・まとめ・音楽および音響効果・アナウンス・ナレーション・放送台本

11. 出場申し込み

- | | | |
|------------|---|----------|
| ①所定の申し込み用紙 | ┌ | 必要事項記入の上 |
| ②領収書 | ├ | |
| ③出場カード | ├ | |
| ④連絡用はがき | ├ | |
| ⑤出場費用 | └ | |

◎①～⑤までのものをそろえて、平成元年5月13日（土）午後2時より午後4時までの間に説明会の受付で申し込むこと。

◎はがきの表面には部門・テーマ・氏名・作品名・合否を記載する。（別紙参照）

◎番組製作部門では出場カードに題名を記載しなくてもよいが、課題・自由の区別ははっきりさせること。

12. その他の注意

①予選会場は土足厳禁です。必ずスリッパまたは上履きを用意すること。

②全部門を通じ、出場申し込み作品の変更は認めない。

③放送台本・テープは出場1名・1本ごとに所定の事項を記載して「角3」封筒に入れ、6月11日（日）の予選当日午前9時～9時30分に受付に提出すること。テレビ番組・研究発表部門については、6月18日（日）の本選当日、午前9時～9時30分に受付を行う。

④予選・本選当日の出場順その他については、当日配布するプログラムを参考にすること。

⑤役員校・委員校の運営補助の生徒は当日午前8時30分に会場の指定の部屋に集合すること。

第36回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川大会
役員一覧

- | | | | |
|---|------------|--------|---------------|
| 1 | 大会会長 | 大西 昭 | (県立逗子高等学校) |
| 2 | 大会副会長 | 丹羽 稔 | (県立川崎南高等学校) |
| | 大会副会長 | 関野 理 | (川崎市立工業高等学校) |
| | 大会副会長 | 藤原 當悟 | (聖ヨゼフ学園高等学校) |
| 3 | 大会顧問 | 水谷 大二郎 | (法政大学第二高等学校) |
| 4 | 大会運営委員長 | 岩崎 章 | (県立新城高等学校) |
| 5 | 大会総合審査委員長 | 原田 正美 | (県立磯子高等学校) |
| 6 | 大会総合審査副委員長 | 須川 光雄 | (県立座間高等学校) |
| 7 | 会場管理責任者 | 藤田 吉雄 | (川崎市立商業高等学校) |
| 8 | 各係責任者 | | |
| | *本部 | 小野瀬 倫也 | (川崎市立川崎高等学校) |
| | *受付 | 渡辺 康英 | (県立茅ヶ崎西浜高等学校) |
| | *審査補助 | 小林 正英 | (県立川崎工業高等学校) |
| | *集計 | 加藤 孝夫 | (県立大師高等学校) |
| | *会場設営 | 前田 一穂 | (県立逗葉高等学校) |
| | *会計 | 加藤 孝夫 | (県立大師高等学校) |

第36回NHK杯全国放送コンテスト神奈川大会 業務分担・人数

平成元年度校内放送委員会 委員校・役員校一覧表

委員長	岩崎 章	(県立 新城)
副委員長	小野瀬 倫也	(市立 川崎)
〃	前田 一穂	(県立 逗葉)
〃	渡辺 康英	(県立茅ヶ崎西浜)
〃	小林 正英	(県立川崎工業)
会計	加藤 孝夫	(県立 大師)
会計監査	藤田 吉雄	(川崎市立商業)

◎ 横浜地区

鈴木 一雄	(県立 磯子)
岩田 敏康	(県立 荏田)
山崎 里見	(市立鶴見工業)
藤田 裕之	(私立 横浜)

◎ 川崎地区 (役員校に選出)

◎ 横須賀・三浦地区

小泉 重夫	(県立津久井浜)
-------	----------

◎ 湘南地区

小林 豊	(県立 鎌倉)
------	---------

◎ 西湖地区

木村 平司	(県立城北工業)
石井 守	(県立小田原城内)

◎ 北相地区

小池 章憲	(県立厚木東)
大沢 嘉子	(県立麻溝台)

業務分担

1 本部	市立川崎	(5)	
2 受付	茅ヶ崎西浜	(4)	
	県立大師	(4)	
	県立川工	(4)	
3 会場設営	川崎市立商業	(8)	
4 集計	アナA	茅ヶ崎西浜 (4)	
	アナB	県立大師 (4)	
	朗読A	県立川工 (3)	
	朗読B	県立新城 (3)	
	ラ課A	県立逗葉 (3)	
	ラ課B	横浜 (3)	
	ラ自A	県立城北 (3)	
	ラ自B	県立磯子 (3)	
	5 審査補助	アナA	県立荏田 (4)
		アナB	県立麻溝台 (5)
朗読A		県立津久井浜(6)	
朗読B		県立新城 (4)	
ラ課A		県立鎌倉 (5)	
ラ課B		県立大師 (2)	
	県立川工	(2)	
ラ自A	県立厚木東	(4)	
ラ自B	県立厚木東	(4)	

() 内の数は人数

第36回NHK杯全国高等学校放送コンテスト神奈川大会

開会式次第

*開式 9時30分

1. あいさつ : 大会顧問 水谷 大二郎
2. 第35回大会総合優勝、準優勝杯返還
 - ・NHK杯(総合優勝杯)返還 : 県立座間高等学校
 - ・有隣堂杯(総合準優勝杯)返還 : 相模女子大学高等部
3. 第36回大会実施上の注意 : 総合審査副委員長 須川 光雄

*閉式

コンテスト(予選)日程

9時00分 開場

10時00分 審査開始

12時00分 午前の部終了

昼食時間

1時00分 午後の部開始

4時00分 審査終了

5時00分 全員退校

※委員校、役員校の生徒は朝、指示に従って会場準備にあたること。

※午前の部終了、午後の部開始の時刻は、審査会場によって異なります。特にアナウンス部門、朗読部門の出場者は注意してください。

審査員分担表

(順不同。◎印：審査チーム)

総合審査委員長 原田 正美 (県立磯子)
 総合審査副委員長 須川 光雄 (県立座間)

アナウンス部門

[A会場]

◎県立瀬谷西 関野 亘
 県立東金沢 芳賀 秀高
 県立横浜日野 中村 ますみ
 県立釜利谷 原田 康子
 県立逗子 三木 将孝
 県立相模大野 石川 岩夫
 県立横須賀 鈴木 潤一
 鶴見女子 多城 淳
 県立豊田 畑中 明美
 県立清水ヶ丘 荒木 高司

[B会場]

◎県立川崎工業 川又 弘明
 県立生田東 大関 格彦
 県立麻生 秋山 易子
 県立川和 勝又 修
 県立有馬 野垣 美紀
 県立相武台 橋爪 崇宗
 県立柏陽 佐藤 俊史
 県立海老名 両毛 明史
 カリタス女子 富田 眞
 県立横浜翠嵐
 県立鶴嶺

朗読部門

[A会場]

◎法政女子 森 健
 県立川崎 西田 理華
 県立神奈川工業 木田 和男
 県立秦野南が丘 長谷部 俊明
 県立弥栄東 山田 秀二
 富士見丘 渡辺 浩子
 平和学園 滝田 笑子
 武相 石橋 勝信
 県立元石川 高橋 実

[B会場]

◎県立鶴見 松本 聡
 県立向の岡工業 西村 正広
 県立保土ヶ谷 桜井 英臣
 県立高浜 古宮 シズエ
 県立久里浜 菊地 清司
 県立厚木西 久木田 淳子
 県立茅ヶ崎北陵 小林 将人
 川崎市立川崎 水島 哲男
 県立豊田 根岸 富男
 県立瀬谷

ラジオ番組制作部門 課題

[A会場]

◎横浜市立南	大森 俊尚
県立寒川	石黒 浩久
県立川崎北	本間 正吾
県立厚木商業	光永 崇宏
県立平塚農業	塩田 博
市立横須賀	鈴木 努
日本大学藤沢	古谷 勝
県立旭	天田 正志
県立富岡	野田 進
県立市ヶ尾	鈴木 健夫

[B会場]

◎相模女大高等部	角田 亨
県立白山	井浦 洋
県立汲沢	大平 かずみ
県立大船工技	小沢 元
県立弥栄西	長田 いつ子
県立生田	小林 誠一
県立大沢	中村 博明
県立都岡	伴 和幸
県立西湘	前川 清
県立永谷	

ラジオ番組制作部門 自由

[A会場]

◎県立港北	藤田 健
県立追浜	川端 照雄
県立菅	浅野 誠司
県立藤沢西	野中 和哉
県立平塚江南	杉浦 敏昭
県立柿生	小泉 浩幸
横須賀市立商業	津戸 詔司
麻布大附測野辺	山室 利夫
県立岩戸	小川 美
県立五領ヶ台	永田 達
県立茅ヶ崎	犬塚

[B会場]

◎横浜市立南	白石 通成
県立金井	金子 和明
県立二俣川	森谷 昭一
県立大和	竹田 英男
県立商工	吉沢 裕史
横浜市立戸塚	片山 裕行
川崎市立高津	原田 実夫
逗子開成	手塚 政夫
県立初声	和田 清
鎌倉学園	鈴木 忠男
横浜市立港商業	

テレビ番組制作部門

課題 (及び、研究発表部門)

◎東海大附相模	中丸 隆夫
県立大和南	柏木 隆良
県立新羽	川手 徹
県立氷取沢	國島 秀昭
県立川崎南	星野 英俊
向上	長岡 豊
成美学園女子	渡部 忠昭
県立藤沢北	佐々木 新
県立橋本	温井 健

自由

◎横浜	藤田 裕之
県立多摩	横須賀 真
県立新栄	本藤 伸弘
県立湘南	萩野 重信
県立百合丘	川口 修
県立大和西	二階 和明
県立小田原城内	及川 慎也
日本大学	小林 信孝
県立横浜立野	栗谷 広二

出場者および作品一覧

アナウンス部門

△会場

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	県立茅ヶ崎西浜	河部恵子	2	36	県立小田原城内	森野知美	2
2	県立麻溝台	大橋素子	2	37	県立小旭	中島裕美	3
3	県立西湘	遠藤康代	1	38	県立湘南	佐藤仁美	1
4	県立追浜	市橋巨咲	1	39	県立豊田	菅野美樹	2
5	横浜市立金沢	山科元子	2	40	鎌倉学園	新倉英紀	3
6	県立川崎北	中山秀美	1	41	市立横須賀	馬淵雅子	1
7	県立立川葉	深海山紀子	2	42	市立柏陽	小古川切典	2
8	県立立川葉	坂田佳保	2	43	法政大学第二	古澤山千春	2
9	県立小田原城北工	五十嵐尚美	2	44	横浜市立港商業	藤原恵美	2
10	県立立都岡	工藤尚美	1	45	県立鎌倉	藤原恵美	3
11	日本大学藤沢	矢口和香子	2	46	県立鎌倉	河野純子	2
12	県立立五領ヶ台	市川陽子	1	47	県立大師	泉裕美	1
13	県立立川和	永久恵子	3	48	県立立花	磯久美子	3
14	県立立茅ヶ崎北陵	広瀬徳子	2	49	川崎市立高津	旭敬子	1
15	県立立川崎南	角南美樹	1	50	県立立藤沢西浜	森喜代美	1
16	横浜市立鶴見工	荒井伸幸	1	51	県立立厚木	佐々木雅実	2
17	県立立多摩西	北代里	2	52	県立立厚木	吉澤本英子	2
18	県立立多摩西	北代里	1	53	県立立厚木	吉澤本英子	2
19	県立立寒川	花房健一	2	54	富士見	相羽貴子	2
20	県立立新栄	西口陽子	3	55	県立立横須賀	飯山典枝	2
21	川崎市立川崎	森田恵子	2	56	県立立神奈川工業	高橋真琴	3
22	県立立港南台	森本千春	1	57	県立立座間	佐々木真美	3
23	相模女子大学高	木田史江	3	58	県立立生田東	佐藤祐信	2
24	県立立鶴嶺	田島亜希子	2	59	県立立氷取	黒木文子	1
25	県立立元石川	星野兼也	2	60	県立立氷取	川原郁一	3
26	県立立百合丘	掛野川賀子	1	61	県立立有馬	岩田華世	2
27	県立立港北	河部典子	2	62	県立立厚木商業	小宮邦照	2
28	東海大付属相模	清水桃子	3	63	県立立夕久女子	小宮美奈子	2
29	県立立釜利谷	松本恵美	2	64	県立立川崎工業	柿田憲司	3
30	県立立海老名	荒川由希子	1	65	県立立潮谷	佐藤美希	3
31	県立立白山	橋本知枝	2	66	法政大学女子	磯井純子	3
32	県立立大和	山岸麻有美	1	67	県立立相武台	中川典子	2
33	県立立鶴見女子	富須節子	2	68	県立立藤沢北	天沼照夫	1
34	県立立生田	前田愛	2	69	県立立成美学	飯田よしみ	2
35	県立立磯子	斎藤雅恵	3				

アナウンス部門
B会場

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	県立茅ヶ崎北陵	小島 恵	2	35	県立潮谷西	池田 真由美	3
2	県立荏田	錦織 康子	2	36	県立水取沢	雑賀 美和	2
3	県立小田原城北工	磯崎 千里	2	37	県立相模大野	磯崎 祥子	2
4	向上	勝木 裕子	2	38	市立横須賀	鈴木 陽子	3
5	県立生田東	藤田 真理子	2	39	県立神奈川工業	佐藤 ひろみ	2
6	県立鶴見谷	木村 修	2	40	成美学園女子	石井 恵	2
7	県立釜利谷	菅原 千恵	2	41	県立川崎北	金守 愛	1
8	県立大川和	荒井 由季	2	42	県立藤沢北	清水 桂	1
9	県立立柏陽	五味 郷子	2	43	県立相武台	齊藤 幸美	1
10	県立有馬	平塚 史子	3	44	県立相武台	齊藤 幸美	2
11	県立有馬	平塚 史子	3	45	法政大女子	秋間 静香	1
12	県立鎌倉	須田 和江	2	46	県立追浜	原 智子	2
13	県立座間	大谷 美香	3	47	県立五領台	坂口 佳夫	2
14	県立逗葉	澤村 涼子	3	48	県立元石川	井川 由紀子	1
15	県立川崎南	真坂 由紀子	1	49	県立西湘	廣井 恵	1
16	刈野辺	茂木 美枝子	3	50	県立潮谷	我妻 久美	2
17	県立都岡	曾我 麗子	1	51	県立海老名	安加 賀智恵	1
18	県立立川	花代子	3	52	県立白山	村上 圭子	2
19	県立磯須賀	増田 晋侍	1	53	日本大藤沢	三井 洋子	3
20	県立横須賀	片山 亜希子	2	54	県立横須賀	利府 幸子	3
21	県立港北	柴谷 希	2	55	県立津久井	漆田 恵子	2
22	法政大第二	白石 文太	1	56	県立市ヶ尾	大場 香織	1
23	県立横浜翠嵐	石井 由香	2	57	横浜市立金沢	海老根 康洋	1
24	東海大付属相模	石川 ますみ	2	58	県立小田原城内	阿武 野典子	2
25	川崎市立商業	三好 郁子	2	59	川崎市立高津	林 知美	2
26	県立百合丘	河津 好美	1	60	県立生田	齊藤 恵利奈	2
27	鶴見女子	天野 理江	2	61	県立厚木商業	原 浩司	2
28	県立茅ヶ崎西浜	谷本 玲大	3	62	県立大和	嶋 貴子	2
29	川崎市立川崎	神田 征世	2	63	県立湘南	井 澤望美	2
30	県立川崎工業	伊藤 雅敏	2	64	県立リクス女子	西 真樹	1
31	横浜市立鶴見工	照屋 善一	1	65	県立厚木	福田 千絵	2
32	県立藤沢西	斉藤 さおり	1	66	相模女子大高	伊代 田久美	3
33	富士見丘	中村 実穂	2	67	県立清水ヶ丘	笹原 久美	2
34	県立逗子	福田 徳也	2				

朗読部門

指定作品 1. 「千曲川のスケッチ」 2. 「雁の寺」 3. 「おとなになる旅」
4. 「ガリヴァ旅行記」 5. 「たけくらべ」

A 会場

No.	学校名	氏名	作品	学年	No.	学校名	氏名	作品	学年
1	武相	宇野哲憲	4	2	44	県立横浜日野	福田緑	1	1
2	県立瀬谷西	堀由紀子	1	3	45	県立五領ヶ台	中沢かがり	1	2
3	県立瀬谷北	福田優子	1	1	46	県立金井	高梨木聖	4	1
4	県立南	福内佳子	2	2	47	県立座間	伊藤井美香	4	1
5	県立湘南	伊藤久美子	3	1	48	県立神奈川工業	高野崇志	2	1
6	県立女子	伊藤美い	5	1	49	県立土井	伊藤高み	5	2
7	横浜市立女子	武田麗奈	4	2	50	横浜市立港南	折野由香	5	2
8	川崎市立大	小池奈穂	5	2	51	県立立須賀	田部朝香	5	2
9	相模女子大	古矢野まき	3	3	52	県立立須賀	渡辺秋香	2	2
10	県立川崎北	中嶋綾	5	1	53	横浜市立見工	石倉野理	3	3
11	県立見川崎	赤永佳輝	3	2	54	県立立須賀	石倉野理	4	2
12	県立見川崎	赤永佳輝	4	1	55	県立立須賀	石倉野理	3	3
13	県立立旭	高橋里子	4	1	56	県立立須賀	根岸治彦	2	2
14	県立海大	森明子	1	2	57	県立立須賀	入谷由紀	5	2
15	法政大	白島悦子	2	2	58	県立立須賀	新垣英樹	5	1
16	県立立大	沼田悦子	4	1	59	県立立須賀	細谷美司	1	3
17	県立立大	鈴木美満	4	1	60	県立立須賀	杉浦一郎	4	2
18	県立立大	鈴木美満	5	2	61	川崎市立高津	山本千鶴	5	2
19	県立立大	五島紀子	1	2	62	川崎市立高津	山本千鶴	5	2
20	県立立大	吉田理	3	3	63	川崎市立高津	山本千鶴	3	3
21	県立立大	藤原しづ美	4	1	64	川崎市立高津	山本千鶴	3	3
22	県立立大	藤原しづ美	1	1	65	川崎市立高津	山本千鶴	5	2
23	県立立大	藤原しづ美	5	1	66	川崎市立高津	山本千鶴	1	2
24	県立立大	石井良	4	1	67	川崎市立高津	山本千鶴	3	2
26	県立立大	山田真弓	2	1	68	川崎市立高津	山本千鶴	1	2
27	県立立大	井上真幸	2	2	69	川崎市立高津	山本千鶴	3	1
28	県立立大	河内勇一	1	2	70	川崎市立高津	山本千鶴	1	1
29	県立立大	新堀哲男	2	2	71	川崎市立高津	山本千鶴	5	3
30	川崎立山	山本謙	5	3	72	川崎市立高津	山本千鶴	4	1
31	川崎立山	山本謙	1	3	73	川崎市立高津	山本千鶴	5	3
32	川崎立山	山本謙	3	2	74	川崎市立高津	山本千鶴	3	3
33	川崎立山	山本謙	2	2	75	川崎市立高津	山本千鶴	2	3
34	川崎立山	山本謙	3	3	76	川崎市立高津	山本千鶴	1	2
35	川崎立山	山本謙	3	2	77	川崎市立高津	山本千鶴	4	2
36	川崎立山	山本謙	2	3	78	川崎市立高津	山本千鶴	1	3
37	川崎立山	山本謙	5	2	79	川崎市立高津	山本千鶴	2	1
38	川崎立山	山本謙	2	3	80	川崎市立高津	山本千鶴	4	1
39	川崎立山	山本謙	5	2	81	川崎市立高津	山本千鶴	2	1
40	川崎立山	山本謙	4	2	82	川崎市立高津	山本千鶴	2	2
41	川崎立山	山本謙	4	1	83	川崎市立高津	山本千鶴	4	2
42	川崎立山	山本謙	1	3	84	川崎市立高津	山本千鶴	3	1
43	川崎立山	山本謙	4	2	85	川崎市立高津	山本千鶴	1	2

朗読部門

指定作品 1. 「千曲川のスケッチ」 2. 「雁の寺」 3. 「おとなになる旅」
4. 「ガリヴァ旅行記」 5. 「たけくらべ」

B会場

No.	学校名	氏名	作品	学年	No.	学校名	氏名	作品	学年
1	武相	英	3	2	43	県立大和	高梨	4	1
2	相見女子	千裕	2	2	44	法政大第二	間一史	4	1
3	向上	田裕子	1	2	45	県立生田	木美生	3	2
4	県立川崎工業	竹林	4	2	46	県立厚木	竹内	5	2
5	県立立川	星高橋	5	2	47	県立神奈川工業	菊野	5	2
6	県立立川旭	留美子	3	1	48	県立浜川	倉野	1	1
7	県立立川百合丘	野美山	1	1	49	川崎市立川崎	早川	3	2
8	県立立川茅ヶ崎北陵	茂野	5	2	50	県立立川	柴野	1	1
9	県立立川遥子	大野	3	3	51	県立立川	岡崎	4	1
10	成美学園女子	山崎	3	2	52	県立立川	岡崎	5	3
11	県立立川永谷	寺崎	5	2	53	県立立川	岡崎	1	2
12	県立立川陽	上肥	5	2	54	県立立川	岡崎	2	2
13	県立立川横浜日野	川島	1	2	55	県立立川	岡崎	3	2
14	県立立川夕ス女子	藤田	3	2	56	県立立川	岡崎	3	2
15	県立立川藤沢	川島	4	2	57	県立立川	岡崎	3	1
16	県立立川西	田賢	4	2	58	県立立川	岡崎	5	1
17	川崎市立高津	室訓	5	1	59	県立立川	岡崎	4	2
18	高津市立丘	和田	1	2	60	県立立川	岡崎	4	1
19	県立立川五領ヶ台	木理	4	1	61	県立立川	岡崎	4	1
20	県立立川茅ヶ崎西浜	雅子	3	2	62	県立立川	岡崎	4	3
21	県立立川溝台	下田	3	2	63	県立立川	岡崎	4	2
22	県立立川追浜	田陽	5	2	64	県立立川	岡崎	2	3
23	県立立川和	原泰	1	2	65	県立立川	岡崎	2	2
24	県立立川大東	安あけみ	1	1	66	県立立川	岡崎	3	3
25	県立立川西	今野	5	1	67	県立立川	岡崎	2	2
26	京浜厚木商業	小島	1	3	68	県立立川	岡崎	5	2
27	県立立川厚木南台	堀山	4	2	69	法政大	須藤	5	3
28	県立立川厚木東	志村	4	1	70	県立立川	岡崎	5	2
29	県立立川川崎北	志村	5	2	71	県立立川	岡崎	3	2
30	県立立川須賀	中島	5	1	72	県立立川	岡崎	4	2
31	県立立川須賀	池田	3	2	73	県立立川	岡崎	1	3
32	県立立川谷	齊藤	3	3	74	県立立川	岡崎	1	2
33	県立立川取	森田	3	2	75	県立立川	岡崎	3	3
34	県立立川高浜	野崎	1	3	76	県立立川	岡崎	4	2
35	日本立大須賀	高橋	3	3	77	県立立川	岡崎	1	2
36	市立大須賀	高橋	5	2	78	県立立川	岡崎	4	1
37	県立立川新	矢野	5	2	79	県立立川	岡崎	5	2
38	県立立川武台	木村	5	2	80	県立立川	岡崎	1	2
39	県立立川磯子	田中	5	2	81	県立立川	岡崎	1	2
40	県立立川金井	増田	3	1	82	県立立川	岡崎	5	2
41	県立立川白山	恒賀	4	1	83	県立立川	岡崎	1	2
42	県立立川	芳賀	3	2					

ラジオ番組制作部門 課題「われら高校生」

△会場

No.	学校名	代表者名	No.	学校名	代表者名
1	県立茅ヶ崎北陵	渡辺幹夫	12	県立相武台	瀧山敦大
2	法政大学第二	奥輝騎	13	県立潮谷西	後藤裕子
3	県立座間	馬場潤一	14	県立新栄	松日楽正樹
4	県立追浜	小林剛	15	県立菅	森川直之
5	県立生田東	中川政昭	16	県立大和西	細谷道子
6	相模女子大学高	小川泰代	17	県立港北	末竹暢子
7	県立鎌倉	青山昌二	18	県立小田原城内	阿武野典子
8	立浜横浜	白居優也	19	横浜市立鶴見工	竹俣恵介
9	向川上	藤原純也	20	県立旭	山野玲
10	川崎市立川崎	加藤義幸	21	県立海老名	寺田宏彰
11	県立金井	村上雄一	22	県立新城	池田充貴

ラジオ番組制作部門 課題「われら高校生」

B会場

No.	学校名	代表者名	No.	学校名	代表者名
1	県立川崎南	林和彦	12	成美学園女子	山口有紀
2	県立湘南	多田公平	13	県立西湘	塩沢一朗
3	県立元石川	高橋直也	14	県立磯子	木岡興太
4	横浜市立南	荒木純子	15	県立柿生	平間司
5	県立生田	小島舞	16	川崎市立高津	藤田聖樹
6	県立衛生短期大	千葉弘子	17	県立麻溝台	太田友香
7	東海大付属相模	望月香保里	18	県立川崎工業	岩本浩
8	県立大船工技	梅澤宏志	19	県立川崎北	中嶋綾
9	県立横浜翠嵐	若林園恵	20	県立有馬	中島要
10	県立大和	加藤礼子	21	県立横須賀	忽那有紀子
11	県立鶴見	松尾麻実			

ラジオ番組制作部門 自由
A会場

No.	学校名	代表者名	No.	学校名	代表者名
1	県立茅ヶ崎	木村和夫	18	県立生田東	片野博之
2	県立有馬	鈴木嵩史	19	県立岩戸	松坂光司
3	県立追浜	篠生洋	20	相模女子大学高	大谷静香
4	県立平塚江南	松本隆	21	県立市ヶ尾	小林洋子
5	県立麻溝台	渡辺千穂	22	向上	川越洋
6	県立小田原城北工	石井勇二	23	カリタス女子	木間美奈子
7	県立座間	高橋拓哉	24	県立鶴嶺	菅健一
8	県立横立野	安橋英将	25	県立港南台	浅原嘉絵
9	横浜市立鶴見工	澤地隆	26	県立湘南	角田大
10	県立大師	吉川浩二	27	県立神奈川工業	浜田義典
11	県立藤沢北	山橋徹	28	横浜市立戸塚	竹内葉子
12	横浜市立金沢	野呂明穂	29	県立海老名	野村充
13	県立生田	中垣さおり	30	県立金井	田中久理
14	県立逗葉	藤倉勉	31	県立厚木	外山真澄
15	県立茅ヶ崎北陵	鈴木敬信	32	川崎市立川崎	小野寺貞雄
16	逗子開成	鳴田芳朗	33	県立弥栄西	立川和茂
17	県立瀬谷西	森哲哉	34	県立清水ヶ丘	柳田真弓

ラジオ番組制作部門 自由
B会場

No.	学校名	氏名	No.	学校名	氏名
1	東海大付属相模	富井嘉代	18	県立厚木東	馬上卓也
2	県立旭	天野祐子	19	県立寒川	伊藤洋子
3	県立川崎工業	宇野秀昭	20	県立相模大野	有吉淳
4	県立横浜翠嵐	西村敬	21	県立相武台	鈴木義之
5	県立大和	星野真理	22	法政大学女子	田辺聡子
6	県立新城	菅博彰	23	成美学園女子	飯田よしみ
7	県立西湘	吉田良和	24	県立小田原城内	森野知美
8	県立茅ヶ崎西浜	小菅隆	25	鎌倉学園	八木修
9	県立磯子	田中一光	26	横浜市立南	山本忍
10	県立元石川	高橋直也	27	県立百合丘	田中亜希子
11	刈野辺	長原博之	28	県立弥栄東	加藤博之
12	県立鶴見	安田貴之	29	県立商工	笹輪啓樹
13	県立瀬谷	井真田昇一郎	30	県立釜利谷	斉藤麻紀
14	県立川和	井本希	31	県立鎌倉	松沼佳佳
15	県立横浜日野	茨原学	32	県立衛生短期大	生田晴美
16	県立高浜	山口美和子	33	県立港北	喜田知隆
17	県立荏田	宮崎陽	34	県立逗子	茂木直也

テレビ番組制作部門 課題「われら高校生」

No.	学校名	代表者名	No.	学校名	代表者名
1	向上	小林由輝	10	日本大学藤沢	牧嶋琢実
2	東海大付属相模	佐藤一暁	11	県立有馬	福留貴史
3	刈野辺	長原博之	12	県立座間	野中成夫
4	県立川崎工業	吉橋誠	13	県立白山	藤森純一
5	県立相武台	大城正俊	14	県立橋本	梶谷浩二
6	県立衛生短期大	半崎珠樹	15	法政大学第二	岡本一
7	横浜市立鶴見工	澤地隆	16	川崎市立川崎	池田眞市
8	県立相模大野	小湊隆	17	県立氷取沢	三宮薫
9	県立新栄	伊藤千鶴	18	川崎市立商業	田西美奈子

テレビ番組制作部門 自由

No.	学校名	代表者名	No.	学校名	代表者名
1	川崎市立商業	五十嵐修	14	県立橋本	柴田隆
2	県立元石川	及川康之	15	県立座間	神崎雅彦
3	県立有馬	森川修次	16	県立麻溝台	榎本昌史
4	県立新城	小川敏博	17	県立川崎工業	成田英隆
5	県立金井	手塚勝男	18	市立横須賀	高橋純
6	県立横須賀	瀬下雅子	19	県立向の岡工	根本茂
7	刈野辺	峠征治	20	県立追浜	伏見竜也
8	法政大学第二	古川興二	21	県立多摩	鈴木英一郎
9	川崎市立川崎	小野寺貞雄	22	県立大師	関口寛幸
10	県立白山	半間英司	23	横浜市立鶴見工	荒井伸幸
11	日本大学藤沢	白岩玲彦	24	県立新羽	渡辺学
12	向上	足助学	25	東海大付属相模	橋本太市
13	県立相武台	小平知弘	26	県立逗子	松岡秀之

研究発表部門

No.	学校名	代表者氏名	No.	学校名	代表者氏名
1	法政大学第二	吉岡史博	4	横浜市立鶴見工業	照屋善一
2	県立有馬	福原和訓	5	相模女子大学	
3	県立座間	佐藤晃一			

諸注意

1. 会場内は、土足厳禁です。必ずスリッパ又は上履きを用意すること。
2. 昼食は、控室及び各審査室でとること。
ゴミの処理及び後始末は、各人で確実に行うこと。
3. 会場内での私語及びロビー・廊下での騒音は避けること。
4. アナウンス・朗読出場者は、早めに各会場で待機していること。